

「ぼくのたからもの」

イエスさまがくれた このくちびるで

イエスさまを賛美しよう

今日もそそがれる かぎりない愛

心から 感謝ささげよう

ぼくのたからものは イエスさまを知ったこと

イエスさまといっしょに生きること

わたしのたからものは イエスさまを知ったこと

イエスさまといっしょに生きること

(1997年夏、松原湖・小学生キャンプ)

Footprints

主とわたしで 歩いてきた この道

あしあとは ふたりぶん

でも いつのまにか ひとりぶんだけ

消えて なくなっていた

主よあなたはどこへ 行ってしまったのですか

わたしはここにいる あなたをおぶって

歩いてきたのだ

あなたは何も おそれなくて良い

わたしが ともにいるから

新聖歌298番 「主に任せよ」

- 1 主に任せよ 汝(な)が身を 主は喜び 助けまさん
忍(しの)びて 春を待て
雪はとけて 花は咲かん
嵐にも 闇にも ただ任せよ 汝(な)が身を
- 2 主に任せよ 汝(な)が身を 主は喜び 助けまさん
悩みは 強くとも
み恵みには 勝つを得(え)じ
真実(まこと)なる 主の手に
ただ任せよ 汝(な)が身を

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌426番 「世(よ)には良き友も」

- 1 世には良き友も数あれど
キリストに勝る良き友はなし 罪人のかしら
われさえも 友と呼びたもう 愛の深さよ
* ああ わがため いのちをも
捨てましし友は 主なる君(きみ)のみ
- 2 世の中の友は 冷(ひ)えてゆき 暖かき言葉
いつか消ゆとも 変わらぬ愛もて 主はわれに
喜びを与え つねにはぐくむ * (くりかえし)
- 3 試みの時も 病む日にも 死ぬる間際(まぎわ)にも
そばにいまして 力ある腕を われに伸べ
優しくのたもう 「いと安かれ」と * (くりかえし)

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン